

教科	科目	学年	単位数
中学技術・家庭	家庭分野	2 年	1
使用教科書		副教材	
技術・家庭 家庭分野（開隆堂）		家庭科ワークノート（地域教材社）	

1. 学習到達目標

衣・食・住などに関する実践的、体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

2. 評価の観点と方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 主に定期テスト・作品をもとに評価する。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 主に定期テスト・ワークシート・調べ学習をもとに評価する。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 主に提出物・持ち物・授業態度をもとに評価する。

3. 学習内容（右ページ参照）

4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

- ・毎日の生活そのものが学習題材となるので、身の回りのいろいろなものに関心を持って疑問や知りたいことを見つけましょう。
- ・家庭科は実習、発表など生徒自身が主体となる授業内容が多くあります。積極的に授業に取り組みましょう。
- ・授業で学んだことは、できるだけ自分の生活で実践してみましょう。

	月	単元・試験	授業内容	その他（到達目標・学習のポイントなど）
一学期	4	○わたしたちの食生活	・食事のとり方を考える	・食事の果たす役割について考えます。
	5		・栄養素のはたらきを知る ・食品に含まれる栄養素を知る ・中学生の栄養の特徴	・自分の食生活をふり返り、問題点・改善点について考えます。 ・5大栄養素のはたらきについて学習します。 ・それぞれの栄養素を多く含む食品の例をあげることができるようにします。
	6		・6つの食品群と食品群別摂取量のめやす	・成人の食事摂取基準と比較して、中学生の栄養の特徴について考えます。
	7	○わたしたちの食品の選択と調理 期末試験	・食品の選び方を考えよう（手作りとし販品の比較） ・食品の保存方法を知る ・体育祭ハチマキの製作	・食品を6つの食品群に分けることができるようにします。 ・生鮮食品と加工食品の特徴について学習します。 ・表示やマークの意味、食品添加物について学習し、目的に合った食品選びができるようにします。 ・適切な食品の保存方法について学習します。 ・ミシンを使い、三つ折り、端ミシン、方向転換の技術を身につけます。
二学期	9	○生活を豊かにするものの製作 期末試験	・食事づくりに挑戦しよう 実習①肉の調理 ②魚の調理 ③野菜の調理	・調理用具の使い方を学習します。 ・野菜の切り方や、焼く・煮る・炒めるなど、調理の基本を身につけます。
	10		・オリジナルクッションを作ろう	・製作計画をたて、製作の手順についての見通しをたてます。 ・個性的なデザインを考えます。 ・手縫いの基本を身につけます。 ・製作記録をふり返り、反省・評価をします。
	11			
	12			
三学期	1	○わたしたちの生活と住まい	・住まいのはたらき ・気候風土と住まい	・住まいの役割について学習します。 ・日本各地の住まいの特徴と気候風土の関係について考えます。
	2		・間取り図とは	・住宅平面表示記号、家具設備表示記号を理解して、住宅平面図を読み取ります。 ・住宅平面図をチェックして、生活行為と住空間、健康を考えた住み方についての理解を深めます。
	3		・家族にあった住まいを考えよう ・災害への備え	・家族それぞれの生活スタイルを考えて、家族にあった住まいを考え、発表します。 ・災害に備えた住まい方について考えます。